

平成30年度 「霧が丘コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,606,000		14,606,000	14,606,000	0	横浜市より
利用料金収入	0		0	0	0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	116,500		116,500	129,400	12,900	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	151,500	0	151,500	158,293	6,793	
印刷代	150,000		150,000	155,905	5,905	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（古紙・利子他）	1,500		1,500	2,388	888	
収入合計	14,874,000	0	14,874,000	14,893,693	19,693	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	7,730,000	0	7,730,000	7,850,407	120,407	
給与・賃金	7,166,000		7,166,000	7,289,887	123,887	
社会保険料	550,000		550,000	547,482	2,518	
通勤手当	0		0	0	0	
健康診断費	8,000		8,000	7,038	962	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,244,000	0	1,244,000	1,089,275	154,725	
旅費	27,000		27,000	22,080	4,920	
消耗品費	280,000		280,000	360,993	80,993	
会議賄い費	20,000		20,000	11,701	8,299	
印刷製本費	282,000		282,000	60,196	221,804	
通信費	150,000		150,000	127,435	22,565	
使用料及び賃借料	31,000	0	31,000	29,900	1,100	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	31,000		31,000	29,900	1,100	
備品購入費	110,000		110,000	153,684	43,684	電話・パソコン購入他
図書購入費	122,000		122,000	172,063	50,063	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	21,600	8,400	
職員等研修費	20,000		20,000	11,340	8,660	
振込手数料	21,000		21,000	9,396	11,604	
リース料	120,000		120,000	96,163	23,837	
手数料	31,000		31,000	12,724	18,276	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	333,000	0	333,000	356,655	23,655	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	333,000		333,000	356,655	23,655	
自主事業費	0		0	0	0	
管理費	3,441,000	0	3,441,000	3,028,700	412,300	
光熱水費	1,226,000	0	1,226,000	1,244,133	18,133	
電気料金	634,000		634,000	689,398	55,398	
ガス料金	500,000		500,000	500,364	364	
水道料金	92,000		92,000	54,371	37,629	
清掃費	980,000		980,000	911,452	68,548	
修繕費	553,000		553,000	239,565	313,435	
機械警備費	61,000		61,000	59,486	1,514	
設備保全費	621,000	0	621,000	574,064	46,936	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	48,000		48,000	73,030	25,030	
電気設備保守	50,000		50,000	44,122	5,878	
設備総合巡視点検	40,000		40,000	32,270	7,730	
特定建築物年間管理・カストロ	150,000		150,000	120,654	29,346	
エレベーター	123,000		123,000	121,306	1,694	
自動ドア	16,000		16,000	11,664	4,336	
植栽管理	82,000		82,000	73,500	8,500	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	34,031	15,969	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費・1	27,000		27,000	26,892	108	空気環境測定
その他保全費・2	35,000		35,000	36,595	1,595	ウォータークーラー水質検査・保守点検・自家発電燃料給油
共益費	0		0	0	0	
公租公課	1,051,000	0	1,051,000	883,746	167,254	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	1,039,000		1,039,000	818,490	220,510	
印紙税	2,000		2,000	3,260	1,260	
その他（県・市民税他）	10,000		10,000	61,996	51,996	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,075,000	0	1,075,000	1,411,092	336,092	
本部分	1,075,000		1,075,000	1,411,092	336,092	
当該施設分	0		0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	14,874,000	0	14,874,000	14,619,875	254,125	
差引	0	0	0	273,818	273,818	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

(様式2)

平成30年度 霧が丘コミュニティハウス利用状況(団体+個人利用)

施設名 霧が丘コミュニティハウス

月別	開館日数 (日)	入館者数(人)			利用層別利用数(人)										前年度 合計(B)	前年比(%) A/B
		男性	女性	合計(A)	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	一般 (男性)	一般 (女性)	65歳以上 (男性)	65歳以上 (女性)	合計		
4月	29	565	720	1,285	41	140	32	78	11	212	331	180	260	1,285	1,277	101%
5月	30	430	743	1,173	37	152	44	94	7	146	294	135	264	1,173	1,177	100%
6月	29	576	855	1,431	39	132	106	36	15	293	393	153	264	1,431	1,494	96%
7月	30	510	829	1,339	63	226	71	59	28	173	358	151	210	1,339	1,531	87%
8月	30	521	751	1,272	42	281	95	66	14	148	266	139	221	1,272	1,387	92%
9月	29	444	974	1,418	64	250	141	34	17	116	375	155	266	1,418	1,367	104%
上半期計	177	3,046	4,872	7,918	286	1,181	489	367	92	1,088	2,017	913	1,485	7,918	8,233	96%
10月	30	455	803	1,258	59	192	39	93	28	126	319	147	255	1,258	1,657	76%
11月	29	531	1,048	1,579	110	242	57	38	26	179	426	175	326	1,579	1,538	103%
12月	27	436	766	1,202	84	199	53	37	16	158	306	121	228	1,202	1,212	99%
1月	27	369	735	1,104	76	143	36	22	16	98	253	168	292	1,104	1,058	104%
2月	27	374	762	1,136	68	125	94	30	12	92	301	165	249	1,136	1,119	102%
3月	30	466	915	1,381	76	206	19	28	4	169	425	186	268	1,381	1,524	91%
下半期計	170	2,631	5,029	7,660	473	1,107	298	248	102	822	2,030	962	1,618	7,660	8,108	94%
年間合計	347	5,677	9,901	15,578	759	2,288	787	615	194	1,910	4,047	1,875	3,103	15,578	16,341	95%

月別	居住区別利用数(人)				その他利用数		
	区内	区外	市外	合計	体育室 (人)	レホール (人)	図書貸出 冊数
4月	1,183	99	3	1,285			250
5月	1,075	91	7	1,173			268
6月	1,332	95	4	1,431			247
7月	1,233	96	10	1,339			264
8月	1,189	80	3	1,272			351
9月	1,299	112	7	1,418			322
上半期計	7,311	573	34	7,918	0	0	1,702
10月	1,155	103	0	1,258			327
11月	1,470	104	5	1,579			310
12月	1,119	79	4	1,202			324
1月	994	109	1	1,104			232
2月	1,022	108	6	1,136			236
3月	1,250	113	18	1,381			217
下半期計	7,010	616	34	7,660	0	0	1,646
年間合計	14,321	1,189	68	15,578	0	0	3,348

平成30年度 自主事業報告書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
幼児親子	おはなしポケットのおはなし会	第3木曜日	月1回	20組	121	22,900	5,100	28,000	有	100	5,000	28,000	講師1名助手1000円2名 謝金年4回	
小学生以上	カーネーションの寄せ植え作り	5月	1回	20	14	8,512	7,000	15,512	有	500	0	0	材料費15512円	
小学生以上	みどりでつながろう!	5月・11月	2回	30	60	40,000	0	40,000	無	0	0	0	花苗代20000円/1回	
成人	茶の湯入門	5月	1回	15	13	9,232	3,900	13,132	有	300	5,000	10,000	講師1名 助手1,000円5名 材料費3,132円	
小学生以上	バドミントンで遊ぼう!	5月・11月	2回	30	40	26,387	12,000	38,387	有	300	5,000	30,000	講師3名 体育館利用料3000円/1回 保険料1000円/1回 お茶387円	
小学生以上	はじめてのSNS	6月	1回	20	22	8,733	11,000	19,733	有	500	8,000	8,000	教材費11500円 お茶233円	
小学生以上	卓球をしよう!!	5月11月	2回	50	44	10,200	8,800	19,000	有	200	5,000	11,000	講師1名 助手1名(5月) 体育館利用料3000円/1回 保険料1000円/1回	
成人	写経のすすめ	8月	1回	12	8	4,924	4,800	9,724	有	600	5,000	5,000	講師1名 教材費4724円	
5歳～小学生	こどもアート教室	9月・11月	2回	12	26	14,814	2,600	17,414	有	100	5,000	10,000	講師1名 教材費2723円/4691円	
成人	和を楽しむ～お茶と箏の夕べ～	9月	1回	30	24	34,842	7,200	42,042	有	300	5,000	13,000	講師1名助手8名 材料費7635円 お茶代1407円(10月振替)	
幼児～成人	ゆうゆう霧が丘	11月	1回	300	300	7,085	0	7,085	無	0	0	0	イベント材料費7085円	
成人	干支の作品作り	11月	1回	12	9	6,226	5,400	11,626	有	600	5,000	5,000	講師1名 教材費6626円	
成人	ゆる～い体操教室	10月～12月	6回	15	99	10,200	19,800	30,000	有	200	5,000	30,000	緑スポーツセンターより講師 30000円	
成人	クリスマスに飾るテーブルフラワー	12月	1回	15	12	5,000	30,000	35,000	有	2,500	5,000	5,000	講師1名 材料費30000円	
成人	ヨガ教室	1月～3月	6回	15	59	18,200	11,800	30,000	有		5,000	30,000	講師1名 5000円 6回	
合 計					0	851	227,255	129,400	356,655	0	6,200	83,000	205,000	

自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費)から充当した額と参加者負担額等の合計となります。

苦情対応状況報告

	年月日	内 容	対 応 結 果
1	7月	トイレの個室に荷物を置く台が無い所が有り、荷物が置けません。	破損により撤去した個室が有り、新しく荷物置き用の台を購入し設置する。
2	3月	靴を脱ぐ履くときに、下駄箱付近に腰かけ等を増やして欲しい。	スペース的に増やすことは難しいので、入り口入ってすぐの柱を囲んでいるベンチを利用してほしい。そのあたりまでの土足は許容範囲です。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
1	4月	スリッパを新しくする	スリッパの傷みが激しく、全て新しくする。滑り止め付き、ゴム底の物を購入。利用者の方から履きやすくなったと喜ばれる。
2	5月	燕の巣作りが始まり、糞対策・注意を促す掲示を行う。	毎年の事に、楽しみにされている方が多い。年々巣の数が増えていくが、土を利用した糞受けを設置し、見苦しくない対策をしたところ好評です。
3	6月	置き忘れ傘置き場の設置	雨の季節となり、置き忘れの傘が増える。置き忘れ傘たてを目立つところに設置し、日付を付ける。気が付かれて持ち帰られる傘が増えた。
4	7月	貸し出し傘の用意	突然の雨に貸し出せるように、申し出の無い忘れ物の傘にラベルを張り、貸し出し用の傘として準備する。天気急変時に助かりましたとのお声をいただく。
5	8月	机の購入(座卓タイプ)	和室で大勢での会議時に、座卓が足りない。あと2台欲しいとの要望を受け、座卓の高さにも調整できる机を2台購入する。利用者の方から喜ばれる。
6	9月	秋の装飾	暑さが続く中、秋の雰囲気作り、壁面やコーナーに秋を感じてもらおう装飾を行う。利用者の方より、楽しいですね。とのお声をいただく。
7	10月	11月開催の「古本市」への準備として、用済みの本を回収する。	思いでの詰まった本を捨てられない方が多く、古本市の企画は大変喜ばれています。年1回の機会を待っていました。と言われます。
8	11月	霧の里花植え	霧の里を利用している方々と共同作業で敷地内に花を植えます。常に季節を感じる事が出来る花壇は、来る方の楽しみとなっています。
9	12月	クリスマスの飾りつけ	こどもの作品を展示したり、手作りの飾りつけを行う。既製品にはない温かみがあり、来館者の方から、作り方を教えて欲しいと好評でした。
10	1月	ウイルス対策 消毒液等を設置する	ノロウイルス・インフルエンザ等が流行り、気に掛けている方が多くいます。公共の施設として、日頃から衛生面に注意をしていますが、利用者の方と共に更なる確認を行いました。
11	2月	シクラメンの鉢植え・ランを飾る	運営委員の方より季節の鉢花をプレゼントしていただき、廊下に飾る。華やかな花に利用者の方たちが喜ばれる。花を介して会話も弾みます。
12	3月	利用者懇談会の開催	年1回利用者懇談会を行う。事前に要望といただくが、窓口にて直に感謝の言葉をいただくこともあり、スタッフ一同励みになります。

平成30年度備品一覧

施設名 横浜市霧が丘コミュニティハウス

No	品名	形状・その他	単価(円)	購入		廃棄		増減
				数量	年月日	数量	年月日	
1	脚折りたたみ座卓兼用テーブル	コクヨ1845チーク	15,552	2	30.8.10			増
2	一般アナログ電話	Panasonic VE-GD76-W	4,860	1	30.10.24			増
3	コードレスホン電話	Panasonic VE-GD76-W	18,360	1	30.10.24			増
4	LIFEBOOK A577/TX	FMVA2901TP	99,360	1	31.3.13			増

(注) 当該年度予算で購入した備品、または廃棄した備品を記入してください。

平成30年度 委託内容一覧

No.	委託期間	委託内容	金額(円)	業者名
1	H30.4.1～ H31.3.31	清掃業務	813,100	(株)スリーオークス
2	9月	清掃業務	3,551	関東電気保安協会
3	〃	設備機器保守(設備総合・特定建築物年間管理・ガスヒートポンプ・消防設備・エレベータ・自動ドア点検・害虫害獣駆除点検)	364,313	(株)ニチナンメンテ
4	〃	機械警備業務	59,486	京浜警備保障(株)
5	〃	自家用電気工作物保守	44,122	関東電気保安協会
6	〃	空気環境測定	26,892	(株)スリーオークス
7	9月	植栽剪定・草刈	73,500	久保田建設(株)
8	7月	冷水機保守点検(冷水機1箇所)	25,920	(株)OSGコーポレーション
9	9月	水質検査(冷水機1箇所)	8,100	(株)総合環境分析
10				
11				
12				

平成30年度 横浜市霧が丘コミュニティハウス運営委員会開催報告

■第1回

日時	平成30年6月2日(土) 10時～11時
場所	霧が丘コミュニティハウス 研修室1
出席者	会長、施設担当係長ほか、11名。
議題	①利用状況について ②自主事業について ③その他・登録団体規約等について
意見等	振り込み詐欺などの注意喚起を、自主事業等人が多く集まる時にはお知らせすると良いのではないかと。団体登録時に、利用規約を提出いただく、規約の無い団体へは登録用紙に一文入れて徹底するようにしてはどうか。1年間利用の無い団体は、退会で良い。貸室の有料化も検討するべきではないのか。

■第2回

日時	平成30年10月6日(土)10時30分～12時
場所	霧が丘コミュニティハウス 研修室1
出席者	会長、地域振興課長ほか、12名。
議題	霧が丘公園こどもログハウス・霧が丘コミュニティハウス合同運営委員会 ①委員紹介②利用状況報告・連絡③平成31年度スタッフ募集について④その他
意見等	各施設の利用状況について報告。施設をより良く利用していただくため各館努力、工夫している。次年度のスタッフ募集について、各項目確認・調整を行う。

■第3回

場所	霧が丘コミュニティハウス 研修室3
出席者	会長、地域振興課長、施設担当係長ほか、10名。
議題	①「横浜市霧が丘コミュニティハウス利用許可申請にあたって」説明②平成30年度事業報告③平成31年度事業計画④平成31年度スタッフについて
意見等	GW10連休にあたり、コミュニティハウス自主事業と連携して、街としてイベントを企画してはどうだろうか。子供たちの居場所が必要ではないだろうか。その間夜間の利用が出来ないことも周知しておく必要がある。

平成30年度 利用者会議開催状況

■第1回

日時	平成31年3月3日(日)9時～10時
場所	霧が丘コミュニティハウス 研修室1
出席者	利用団体代表者57名 会長ほか、3名。
議題	①利用状況について②施設利用について確認③意見交換
意見等	懇談会にあたり、事前にいただいた意見の中に、荷物を置けるロッカー等の利用は出来ないかとあり。スペースが無く、全ての団体に持ち帰りをしていただいている事をご理解いただく。

事故発生状況及び対応状況報告

	年月日	内 容(状況、発生場所等)	対 応 結 果(対応者)
1		なし	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成30年度 職員等に対する研修実施状況

No.	実施月日	研修名	研修内容(概略)	参加者数及びその内訳
1	4月7日	今、子育てに求められている事	学校、家庭、地域と様々な大人が見守り関わる事。子育てについての協働の重要性。また、霧が丘学園の9年間を通しての学び、年齢幅のある児童生徒が共に育つ事のメリツ	館長ほか、7名。
2	4月25日	人権研修	法務省HPより 平成30年度啓発活動強調事項「世界人権宣言70周年」みんなで築こう人権の世紀 参行為資料に基づき、館内での対応について意見交換し、共通理解を	館長ほか、8名。
3	4月25日	個人情報取り扱い	個人情報の管理について確認。個人情報漏えい事故防止マニュアル・霧が丘コミュニティハウススタッフのしおりを活用。	館長ほか、8名。
4	5月18日	緑区防災ライセンスネットワーク連絡会	新型移動式炊飯器(まかないくん)取扱い・実技 発電機取扱い・実技	館長ほか、1名。
5	6月22日	消火避難訓練	10時～11時迄ケアプラザ職員・コミュニティハウススタッフ・IISJ児童・先生、利用者にも参加していただき実施。 1階ディサービスからの出火、初期消火失敗と想定しての避難誘導訓練。2階は中央階段より1階正面玄関に避難。点呼。報告。その後移動して水消火器訓練。	館長ほか、5名。
6	6月16日	みんなで地域を考える会	各委嘱委員の活動発表、意見交換会。	館長ほか、4名。
7	9月8日	夏期防災宿泊訓練	14時集合 宿泊準備(灯光器・発電機準備)炊き出し訓練 トイレの設営 18時集合 避難所設営手順DVD視聴 夜間パトロール 朝食準備	役員3名。
8	9月9日	夏期防災総合訓練	9時～11時半 4班に分かれて活動する 1. 受付・水汲み 2. 放水訓練 3. 担架、車椅子、リヤカー、おんぶ紐 救助者搬送訓練 4. 初期消火、煙ハウス体験	役員7名。
9	10月15日	AED講習会	十日市場所長より指導を受ける。AEDを使用して普通救命法を学ぶ。ケアプラザ職員・ログハウススタッフとの合同研修。	館長ほか、6名。
10	10月22日	防犯研修	緑警察署より防犯講話。振り込め詐欺について、不審者対応について、青少年への対応など。	館長

(様式12)

11	11月20日	緑区公園愛護会 のつどい	「公園や周辺での身近な動物について」 「お金をかけずに賢く素敵な花壇作り」	館長
12	12月6日	消火避難訓練	9時30分～10時迄ケアプラザ職員・コミュニ ティハウススタッフ・IISJ児童・先生、利用者 にも参加していただき実施。 1階サービスからの出火、初期消火失敗 と想定しての避難誘導訓練。2階は中央階 段より1階正面玄関に避難。点呼。報告。消 火器設置場所の確認。	館長ほか8名。
13	1月13日	冬期防災総合訓 練	9時～11時半 4班に分かれて活動する 1. 受付・水汲み 2. 放水訓練 3. 担架、車椅子、リヤカー、おんぶ紐 救助 者搬送訓練 4. 初期消火、煙ハウス体験	館長ほか7名。
14	2月16日	大都市フォーラム in緑区	基調講演 「魅力あふれる都市の実現に向けて」 座談会 「横浜市が目指す大都市制度『特 別自治市』とは？」	館長ほか1名。
15	3月2日	緑区防災講演会	講演 防災システム研究所 所長『近年の大規模 災害に学ぶ「命を守る」備え～家庭と地域で 考える実践的防災対策～』	館長ほか1名。
16	3月19日	接遇研修	接遇研修～クレーム対応の基本を学ぶ～ ファイブスターズアカデミー 人権研修 事 務局長講話	役員7名。

平成30年度 利用者からの意見聴取集計報告

No.	実施時期	内 容	効 果
1	5月	カーネーションの寄せ植えづくり	母の日に向けて、寄せ植えを作る。子供から大人まで、季節を感じながら楽しめた。
2	6月	はじめてのSNS	高齢者の方に、SNSについて幅広く知っていただく機会となった。
3	8月	写経のすすめ	心が安らぎ、写経の素晴らしさに感謝します。次はお寺の写経に挑戦しに行きたい。
4	9月	和を楽しむ	琴の音色と、お抹茶をゆったりと楽しみました。毎年楽しみです。
5	10月	バドミントンで遊ぼう	基礎から学ぶことが出来、充実した指導を受けることが出来ました。
6	11月	こどもアート教室	季節の素材を使ったの作品づくりは、四季を感じることが出来ます。
7	12月	ゆる〜い体操教室	とても楽しく体を動かすことが出来ました。毎日の生活に取り入れることが出来そうです。
8	通年	いつもお花がきれいですね	敷地内・館内には季節感が感じられるように常に緑があります。常に皆さんの話題に上ります。
9	3月	利用者懇談会に向けて要望を募る	いつも施設がきれいに使えていますと、お褒めの言葉をいただく。引き続き喜ばれる施設づくりに努力する。
10			

平成30年度 光熱水費内訳

施設名 横浜市霧が丘コミュニティハウス

項目	ガ ス		電 気		水 道		月 計
	使用量(m³)	料金(円)	使用量(kwh)	料金(円)	使用量(m³)	料金(円)	料金(円)
4月	51	7,166	1,471	40,368	11.2	4,931	52,465
5月	39	5,762	1,484	40,132	2.0	3,066	48,960
6月	83	11,235	1,649	43,701	13.2	7,158	62,094
7月	654	78,070	1,910	52,475	2.0	3,066	133,611
8月	667	79,967	1,909	53,859	23.8	11,985	145,811
9月	488	60,602	1,766	49,393	2.0	3,066	113,061
10月	134	17,910	1,535	42,249	2	927	61086
11月	53	7,793	1,565	39,388	2	3,066	50247
12月	320	41,675	3,178	76,805	9	4,549	123029
1月	523	67,868	3,945	90,419	2.0	3,066	161,353
2月	567	74,055	3,513	82,917	12.1	6,425	163,397
3月	359	48,261	3,196	77,692	1.0	3,066	129,019
合 計	3,938	500,364	27,121	689,398	82	54,371	1,244,133

基本協定書等に定めた目標の達成状況について

- (1) 年間利用者数及び稼働率の増加に向けた取り組みとその達成状況について（目標 平成29年度実績対比プラス2%）

平成29年度実績対比プラス2%の達成状況

	29年度	30年度	前年比
稼働率（団体のみ）	20.8%	18.7%	89.9%
年間利用者数	16341人	15578人	95%

登録団体数

	29年度	30年度
地域 （自治会・委嘱団体・PTA・学校 等）	26	28
体育系 （ダンス・ヨガ 等）	26	21
文化系 （絵手紙・コーラス 等）	28	26
合計	80	75

以上のような達成状況となりました。

登録団体数が減り、稼働率も前年を下回る結果となりました。

年間利用者数は、図書コーナーの充実、自習室の利用など利用者の増加が続いていましたが、今年度は若干の減少となりました。

今後の稼働率向上のためには、文化・音楽系団体への積極的利用の勧奨、夜間利用率の向上を目指しての、近隣事務所・事業所への勤務終了後の利用方法（サークル活動・勉強会）の提案・PRなどを行う等、更なる努力を行ってまいります。

個人利用者向けに図書コーナーの充実に力を入れています。

蔵書数は4513冊。定期的に話題の本など新刊を用意し、地域へは「図書コーナ

一だより」を配布。新しい来館者を増やすことに繋げています。

平成27年度11月より、貸し出し時間を変更したことから、貸し出し冊数、利用される方が増えました。

近隣学校への「勉強の場」の充実として研修室2を27年4月より「自習室」専用とし、より勉強に集中できるよう机を閲覧机調に改修し、広報紙を通してPRなどを行いました。

定期試験前の中高生、入試の前、また日中は成人の方の利用も多くあり、夏休みなど長期休みの時期は、多くの方に利用されています。

(2) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みと

その達成状況について

誰でも気軽に参加できる自主事業を企画・実施し「いきいきと心豊かな生活をおくれるきっかけづくりや、仲間づくりをコーディネートすることを目指してきました。幅広い年齢層を対象とした自主事業につきましては、～子どもと大人が一緒に楽しめる～ことを内容とした事業を行いました。

主な実施自主事業

対 象	事 業 名	内 容
成 人	介護は十人十色	介護資格をお持ちの林家源平師匠をお迎えして、実際、仕事をされた現場での体験を、笑いを交えてお話しをして頂きます。「十人十色」の言葉通り、様々な方がおられるが、「自ら声をかける・笑顔で接する・楽しくやりましょう。」の精神で、と仰っておられます。介護する側、される側の状況に関心があるようですので、大変意義あるものです。
幼児～成人	過ぎし日に想いを はせて	8月15日 終戦記念日に合わせて、関係書籍・写真集の閲覧を終日行いました。だれでも、気軽に立ち寄り想いを寄せる場の提供となり、幼児から成人まで幅広く利用いただきました。

幼児・親	おはなしポケットのおはなし会	幼児の親子対象で、お話を聞いたり、うたったり、手遊びをしたり、親子で絵本に親しむ初めの一歩として、開催しています。親子共々、自宅とは違った楽しさ、仲間との触れ合いもあって、人気があります。
幼児・小学生	こども絵画教室	絵画・貼り絵・工作等で四季を表現します。細かい作業や、考える事で感性を伸ばしていきます。
成人	大人のためのメイクアップ講座	専門のメイクの方から、自分に合ったメイクの方法を教わりました。 アンチエイジング講座、肌年齢に合わせた講義と実践方法が好評を得ました。
小・中学生 成人	卓球をしよう	広い体育館のスペースを使って、こどもから大人まで、卓球を通して交流を図っています。普段触れ合う事の少ない交流も生まれます。初心者から経験者を問わず、卓球を楽しみます。
成人	茶事で夕涼み	立礼の形での、お点前を楽しみます。 夏の暑い盛り、夕涼みを兼ねて夜間の自主事業です。 演出として、箏の演奏も楽しみました。
成人	クリスマスリース作り	クリスマスに向けて、ドライフラワーによるリースを作りました。 アレンジによって、クリスマスに限らず飾る事が出来ると好評でした。
成人	終活セミナー	より良き老後を迎えるための知識を、専門家を迎えて教えていただきました。 少人数の参加のため、聞きたいことを聞ける懇話会のような和やかな会となりました。
幼児～成人	ゆうゆう霧が丘	ケアプラザ・霧が丘社会福祉協議会との共同開催。年に1度の館をあげてのイベントです。利用団体による発表の場を設けています。

成人	おやすみ前のヨーガ教室	利用者の少ない夜間に自主事業を開催。 日中の喧騒から離れた、夜の時間に心も身体もほぐします。
小学生～成人	和楽器を楽しもう	日本の伝統楽器、箏・三味線・尺八を体験する。 講師の方の演奏を鑑賞する。
成人	写経のすすめ	無心になる時間を体験する。 8月のお盆の時期に合わせて開催。 写経の心構え等ご指導いただく。

その他、30年度は全15の自主事業を開催しました。

(3)その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みとその達成状況について

※開館以来、地域の支援連携協力をいただきながら、稼働率向上の為、上記以外にも様々な事業に取り組んできました。

地域・複合施設との連携事業

- ◆子どもから高齢者まで、交通事故ゼロを目ざし、事故にあわないように対処法を学ぶため、スタントを行い実際の事故状況を再現する『スーパードライバーズ』を招き、交通安全教室を開催。
- ◆中国雑技・変面ショー・二胡演奏実施。特に高齢者や車イスの方に来ていただいて、変面ショーの素晴らしさ、雑技・二胡に感激され拍手を送っていました。
- ◆霧が丘地域の誇れる防犯防災活動の一環で、スローガン「地域防災・いざ！という時自分の役割は？」に適した行動がとれるよう、自分の役割を知り、実践できるように学ぶ為の講演会を実施、また、説明と共に防災機器の展示・練習等々を毎年、事業の中で実施してきました。
- ◆3周年・5周年の節目には「ゆうゆう霧が丘」として、ケアプラザ・コミュニティハウス・地域防災活動センターとの事業を行い、以降毎年の恒例行事として定着しています。
- ◆「東日本大震災を忘れない」をスローガンに被災した経験を語る朝日館の女将による「朝日館女将のてんてこ舞い日記」講演会の実施。
実体験と、実情について聞くことの出来る貴重な経験となった。
- ◆「認知症ってどんなもの？」講演会を開催。
見守り、支援のあり方について知る機会を得る。
- ◆「ゆうゆう霧が丘」において古本市を開催しました。

本には愛着のある方が多く、回収を知ると何回も足を運び持ち込んで下さる方がいらっしゃいました。

また、この機会に初めて来館した方もいらっしゃり、古本市も盛況となりました。

◆きて！みて！霧の里開催。

霧の里を開所して10年となる節目の年を迎えました。霧が丘地域スポーツ広場・霧が丘ケアプラザ・インディアインターナショナルスクールインジャパンと協力して、イベントを開催。初めての試みではあったが、多くの方に楽しんでいただけた。また、各施設間の連携が深まる事に繋がりました。

コミュニティハウス自主事業

- ◇広い敷地内の花壇に、毎年春と秋に花植えの実施。
- ◇夕方の稼働も考慮して、七夕の夕べやお月見の時期に茶道とお琴のコラボレーションの事業の実施。
- ◇夏休みは親子でのドッジボール大会、体操ゲーム遊びの実施。
ハワイアンストラップ作り。
- ◇健康促進の為、太極拳で交流実施。
- ◇冬は、雛飾りの作製・和心を楽しむため、絹糸での指ぬき・ミニ手まり針山作り。
- ◇クリスマスリース作り・フラワーアレンジメント。
- ◇「片付け上手で快適ライフ」納得整理術を学ぶ。
- ◇「書の時間」手書きの良さを味わいながら、書の基本・季節の作品作りに挑戦した。
- ◇「イスに座って出来るヨーガ」椅子を利用して出来るヨーガ教室の開催。
座ることが困難な方や、気軽に参加していただけることが出来好評を得る。
- ◇夏のお盆の時期は、来館者が少なくなりますが8月15日の終戦記念日には、関連図書を中学校よりお借りして「過ぎしに想いをはせて…」を開催しています。立ち寄った方からは、忘れてはならない事ですね。ぜひ続けて下さいねとの、お声を掛けていただきした。
- ◇「老前整理」～よりよき明日を迎えるために～
良く耳にする終活について、まず何からどのようにすれば良いのか、専門家を招き、講座を開催する。分かりやすく、参加して良かったと喜ばれる。
- ◇ひなまつりのフラワーアレンジメント
ひなまつりに向けて、桃の花のフラワーアレンジメントを教えていただく。
ひな人形を飾らないご家庭でも、桃の花を飾りひなまつりの雰囲気を楽しめると好評をいただく。

◇はじめての SNS

今話題の、line・Twitter・Facebook・Instagramを知る講座。

興味はあるが、なかなか体験することが出来ない。また、言葉はよく聞けるがどのように使うものなのか分からない、といった方向けに開催したところ、大変分かりやすく勉強になりました。これから、自分で始めて見たいです。と、入門講座として好評でした。

◇バトミントンで遊ぼう

緑区バトミントン協会より講師をお呼びしてバトミントン教室を開催しました。熱心な指導に、子供から大人まで楽しみました。

◇カーネーションの寄せ植え作り

母の日にちなみ、カーネーションをメインに季節の花の寄せ植えを楽しみました。子供から大人まで、それぞれ雰囲気の違いが出来上がりました。長く花が楽しめたということです。

◇ゆる〜い体操教室

健康寿命を延ばそう、をスローガンに体を動かしながら頭も使う体操教室を開催。3か月6回の講座は、毎回定員近い方の参加で賑わいました。

◇ヨガ教室

3か月6回の連続講座として、ヨガ教室を開催しました。

女性中心の、サークル活動として継続した活動に繋がりました。

※施設のアピールとご利用いただくために、館内に掲示するだけでなく地域の霧が丘連合自治会にご協力をいただきまして、ご案内を13自治会に回覧・掲示をお願いしてきました。住民の皆様に見ていただくには最良の手段で、すぐに電話申し込みが入ります。実際の事業は楽しかったわ、参加してよかった等、皆さまに喜ばれ、今度はいつですか？と、聞かれる程です。

1. 利用者懇談会でのニーズ把握

年1回開催される利用者懇談会には、登録団体を主として多数の参加を得ています。団体他からの意見で実現可能なものがあれば取り入れ、館運営の活性

に繋げています。

複合施設として、コミュニティハウスだけではなく施設全体の利用ルールについて、確認しご理解いただいています。

2. その他

区民利用施設協会としてホームページを作成しました。霧が丘についても視覚に訴え、わかりやすい内容として稼働率・利用者数のUPにつながるよう、PR対策に取り組めます。

子どもの居場所作りとして、夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中に限り将棋やオセロなどで遊ぶことの出来る「遊べるコーナー」を設営し喜ばれています。

図書の貸し出し時間の見直しを行い、平日 10 時～20 時 日祝 10 時～15 時に変更したところ、借りやすくなり利用しやすくなったと、喜ばれました。貸し出し冊数、新規利用者の増加につながりました。

霧の里の取り組みとして、プール跡地が「憩いの庭」に生まれ変わりました。新しく花も植えて、木々も美しく剪定され、利用者の方や通りかかる方の目を楽しませ、写真を撮ったり、絵を描く方もいらっしやいます。

複合施設ということで、必ずしもコミュニティハウスの利用者とは限りません。また、他施設の利用について尋ねられることがありますが、スタッフ一同臨機応変に、利用者の方の立場に立って対応するよう心がけています。

平成30年度（霧が丘コミュニティハウス）自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組（改善計画）	自己評価
利用者サービス	<p>（１）地域特性、地域ニーズ</p> <p>霧が丘地区は、大学・高校・小中一貫校が整備された新興住宅地と環状4号線沿いの商業施設が連なる地域となっています。</p> <p>利用圏は霧が丘連合自治会を中心とした範囲の地域となっています。霧が丘は、安定した地域社会を構成しており、連合自治会を中心に防犯、防災に力をいれた高い地域力をもつ地区となっています。このような霧が丘地区の築かれた地域コミュニティをさらに醸成できるよう、地域とのつながりを大切に、幼児から高齢者まで幅広い世代が安全に安心して、さらに気軽に利用できるような施設運営を心がけてまいります。</p>	<p>学生の多く通う町のため、静かに勉強に集中できる場所として自習室の利用者が増えています。資格試験等に臨む成人の方の利用も増えてきました。</p> <p>また、防災拠点の中の施設であることからスタッフも積極的に関わり、共に考え協力をしています。</p>	<p>幅広い年齢層が参加出来、世代間交流が出来るような自主事業が企画出来ればと考えています。</p>	B
	<p>（２）公の施設としての管理</p> <p>公共施設であることから、利用者の要求をかなえるばかりでなく、区民全体の施設であり、公平に利用していただくことをご理解していただき、ルールを守るだけでなく、マナーのある施設利用をお願いしてまいります。また、ケアプラザやインターナショナルスクールが併設された複合施設の中の一施設として、互いに協力しあい、誰もが安全・安心に利用できる施設管理に努めてまいります。</p>	<p>施設全体を通して、利用者の方に同じルールを守ってご利用いただいている事が、施設全体の美化に繋がっています。何かあれば各施設のスタッフ同士連絡を取り合います。初めての方には、複合施設としての分かりにくさが有るようですが、どの施設を利用の方にも丁寧と同じく接しています。</p>	<p>街に外国籍の方が多くなり、利用される方も多くいらっしゃいます。共通のルールを守っていただけるように、必要と感じた時は英語の表記を掲示します。また、丁寧な説明が必要です。</p>	B
	<p>（３）利用者ニーズの把握と運営の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や利用者懇談会を開催するほか、利用者アンケートなどにより、利用者の声をコミュニティハウスの運営に反映してまいります。 ・利用者のニーズは、定期的なアンケート調査を行い、行政との調整や費用対効果を十分検討し、可能な限り自主事業や施設運営に反映してまいります。 	<p>運営委員会を6月10月3月の3回行い、様々な角度からのご意見ご提案をいただくと共に、利用者懇談会を年1回開催し立場の違いから見えてくる施設へのご意</p>	<p>アンケートを通していただいた声に気になることが有れば、スタッフ全員で検討します。館内で聞くこと、街で聞くことそれらを共有しながら、更なるニーズを探して行きます。</p>	B

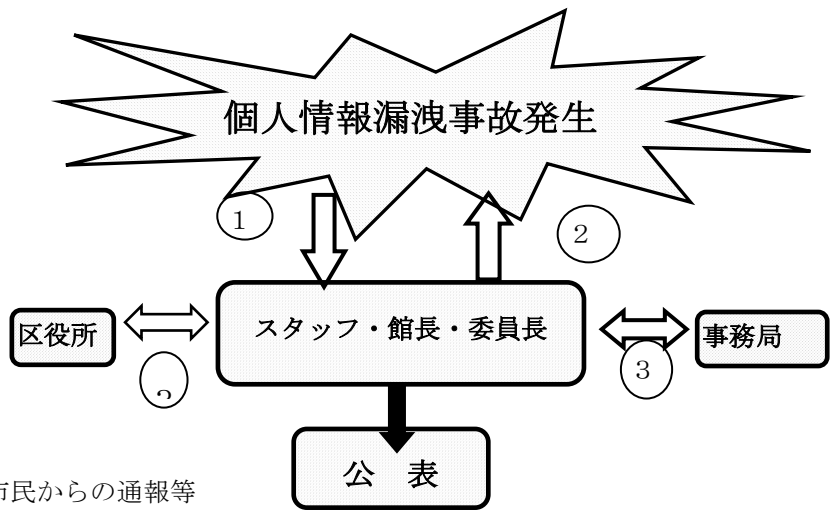
	<p>【数値目標】利用者懇談会にて事前アンケート実施 年1回 自主事業開催時 アンケート実施</p>	<p>見を大切にしています。自主事業では毎回アンケートを実施するとともに、日々個人でご利用いただく方からの様々なご意見も、スタッフ全員で共有し課題の解決に知恵を出し合っています。</p>		
	<p>(4) 利用者サービス向上の取組 団体利用の皆様には、特に公平な対応を基本とし、安心・安全で満足いただける施設とお客様の意識を持った対応を心掛けるとともに、より利便性が高まるよう、地域ニーズや利用者の声に耳を傾け、霧が丘コミュニティハウス運営委員会（以下「運営委員会」と言う。）の提言などを尊重して、地域の力や知恵をいただき管理運営に生かしてまいります。</p>	<p>利用者の方が快適に利用できるように必要な備品の購入・修理等を行います。日常の清掃・点検を欠かさず問題があれば直ぐに対応をします。 17時からの勤務時には、霧の里外周を回り美化活動に努めています。</p>	<p>常に利用者の視線を大切に施設を運営するよう心掛けています。 貸し出し物の中には不具合も出てきています。その都度、迅速に対応して行きます。</p>	B
業 務 運 営	<p>(5) 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長 1名を配置します。地域に精通し、施設管理や運営に意欲があり、かつ地域や関係機関との調整の出来る人材を配置します ・館長補佐 1名を配置します。館長休暇日の館長代理として勤務につけるよう地域に精通し、施設管理や運営や自主事業の企画に意欲があり、かつ館長の補佐のできる人材を配置します。 ・スタッフ 夜間7名を配置します。利用者の対応や苦情などに的確に対応でき、協調性のある人材を、地域での活動実績にも配慮しながら採用します。近隣地域からのスタッフを採用することにより、勤務の交代が必要なときでも調整が容易で、人員体制を円滑に維持できます。 	<p>毎月の調整会議では、確実に勤務の確認を行い、急な変更の時には連絡を取り合います。 特に、夜間勤務のスタッフが朝の臨時勤務に入る時には必ず前日に電話確認を行います。 また、街の中の様々な事柄を話し合い運営や自主事業のテーマに取り上げます。</p>	<p>夜の勤務スタッフが昼の臨時勤務に入る。昼の勤務スタッフが夜の勤務に入る事で、一日を通しての館の有り方に気付きます。 小さな気付きの積み重ねから、気持ちよく利用していただくヒントを見つけてゆきます。</p>	B

<p>(6) 緊急時の体制と対応計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティハウス及び施設協会内に緊急連絡体制が整えられています。万一のさいの迅速な初動体制を確保するとともに、併設の施設との間の連絡体制を整備し、情報の共有化と相互扶助にも努めています。 ・緑消防署の指導を受け、年2回霧の里一斉消防訓練を実施しています。 年1回AED講習会の実施をしています。 ・緑警察署の指導を受け、防犯対応研修を実施します。 ・協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を定期的に職員間で確認します。 <p>また、地域との連携により火災等に備えて、スタッフへの防災訓練等を複数回実施し、防災力の向上に努めてまいります。</p>	<p>緊急連絡網を掲示。 霧の里一斉消防訓練年2回 6月12月実施 水消火器訓練 霧が丘総合防災訓練年2回 9月1月参加 初期消火器訓練 AED講習会 10月実施 地域の防犯パトロールへの参加および講習会への参加。</p>	<p>日中1人での勤務。 夜間2人での勤務。それぞれの動きを全員が確認しておく必要があります。 引き続き、調整会議を通しヒヤリハットの共有をすることで事故の防止につなげていきます。</p>	<p>B</p>
<p>(7) 設置理念を実現する運営内容</p> <p>当協会は、区民利用施設（地区センター、コミュニティハウス）の管理運営及び区民が参加する活動への協力等を通じて、区民を主体とした活動とふれあいのある快適な地域社会の実現に貢献していくことを目的として活動しています。</p> <div data-bbox="309 820 1106 1134" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><緑区区民利用施設協会執務方針></p> <p>区民サービスの向上と効率的な運営を基本に業務の質の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の声をよく聞き、快適な施設環境を提供します。 ・個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。 ・職員間の情報共有を進め、コミュニケーションを密にします。 ・お客様が安全に安心して利用できるよう万全な危機管理を行います。 </div>	<p>利用者の方へは挨拶を欠かしません。 事務室勤務中は、窓口に背を向けないように勤務につきます。 研修室は常に清潔に美しく整備しています。 個人情報に関しては研修を行い、スタッフ間の会話にも気を付けています。 施設内・敷地内を一日3回巡回しています。</p>	<p>複合施設として、他の施設を利用している方へのご案内には、他の施設の基本的な情報が必要です。 霧の里会議より、他施設の情報を得ると共に、引き続きスタッフ全員に周知していきます。</p>	<p>B</p>
<p>(8) 利用促進策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用要綱に基づいて運営する事を基本にしながらも、できる限り利用者の要望に沿った、柔軟な運営をいたします。 ・申込状況に応じて、研修室の利用について弾力的に対応します。 ・個人利用の出来る、図書コーナーまた自習室の利用方法について、広く知っていただけるように地域への回覧掲示板などの活用を工夫し、広報活動へ力を入れていきます。 ・図書コーナーへの新刊本のお知らせ、くつろいでいただけるスペース作りの工夫を取り入れま 	<p>「コミュニティハウスのお知らせ」専用コーナーや作品の展示を通して、利用者のかたの目を引く工夫を心がけています。 自主事業の開催が決まっているものは、早目に窓口にてご案内します。</p>	<p>回覧・掲示板について、利用者の方から感想をいただくことがあり、広報の励みになります。 地域回覧に時間差があり、館内での案内を広くお知らせして行きます。</p>	<p>B</p>

<p>す。</p>	<p>図書コーナーには、話題の新刊を購入。また希望図書を募り購入しています。 貸し出しの時間 月～土 10時～20時 日祝 10時～15時 は喜ばれています。</p>		
<p>(9) 本市重要施策に対する取組</p> <p>ア 情報公開 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨にのっとり、霧が丘コミュニティハウスの情報公開規程を作成し、指定管理業務に係る情報の公開に対応していきます。</p> <p>① 事業報告書を常に閲覧できるようにします。</p> <p>② 自治体が公開している資料（オープンデータ他）を活用した地域課題情報を発信します。</p> <p>イ 人権尊重 ① スタッフを対象とした研修を積極的に進め、人権への気付きの感覚を高めます。</p> <p>② 人権尊重の方針を地域住民の方にご理解いただくため、リーフレットの配架等により発信します。</p> <p>ウ 環境への配慮 ① 横浜市の「3R夢プラン」を進めるとともに、LED灯を積極導入し、省エネを推進します。</p> <p>② コミュニティハウスの内外に花や緑を置き、環境に配慮します。</p> <p>エ 市内中小企業優先発注 「横浜市内中小企業振興基本条例」に基づき、業務委託や物品の購入は、市内中小企業に発注します。</p> <p>オ 障害者福祉政策 この施設は、EV・斜路・多目的トイレなどが設置され、ハード面では相応の水準にあり、重要なのは職員の障害に対する理解と暖かな目線です。併設地域ケアプラザと共に意識を醸成いたします。</p> <p>カ 男女共同参画政策 ドメスティックバイオレンス防止等男女共同参画の意識啓発パンフレットを配架するとともに、男性・女性が共に参加できる自主事業に取り組みます。</p>	<p>利用者の方の申し出に対応できるように閲覧用ファイルを準備しています。</p> <p>地域より発信される防犯ニュースや広報誌は、目の止まる場所に掲示し注意喚起を促しています。</p> <p>4月にスタッフの人権研修を行うと共に、人権尊重のリーフレットを何時でも読めるように置いています。</p> <p>年2回地域と共同して敷地内に季節の花を植えます。</p> <p>障害をお持ちの方へも分け隔ての無い対応を心がけています。</p> <p>対応の難しい時には、ケアプラザの方と連絡をとり、協力をお願いします。</p>	<p>横浜市ホームページなどをチェックし、館長以下全員が市重要施策等を理解できるよう取組みます。</p>	<p>B</p>

	<p>(10) 自主事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを把握し、魅力ある自主事業を計画します。 ・コミュニティハウス運営の柱の一つである自主事業については、大勢の誰もが参加しやすくなるために参加費を廉価にしています。 ・事業終了後にグループ組織の立ち上げを打診し、自主的な活動を促し、地域コミュニティの醸成に繋げてまいります。 ・稼働率の低い夜間の利用拡大 スタッフを2名配置して、夜間の自主事業の実施を進めます。 利用の少ない夜間に定期的な自主事業を計画し、夜間の稼働率に繋げていきます。 「茶の湯入門」等 	<p>夜間に2自主事業を開催。 「茶の湯入門」 「和を楽しむ」 初めて施設を利用する方もあり、好評を得る。 幼児向けのものから高齢者の方にも参加頂ける自主事業を企画開催。</p>	<p>様々な活動を通して、グループの立ち上げに繋がるよう努力を続けます。</p>	<p>B</p>
	<p>(11) 施設の維持管理計画</p> <p>維持管理については、利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に施設を利用していただけるように、できるところは自力で行い、資格や専門知識・技術の必要な分野は専門業者に委託し適正に行っていきます。</p> <p>① 建物・設備等の保守・点検について 併設の施設と共同で、建物内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備及び給排水衛生設備など施設内の総合的な保守点検を委託し、安全で快適な環境を保持してまいります。</p> <p>② 清掃業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な清掃は、スタッフが行うとともに、トイレ等は専門業者も行い、快適な環境を保持してまいります。 ・日常清掃では負えないカーペットやガラス清掃、などは、年に3～4回、専門家に委託した清掃により行い、清潔な施設と環境を保持してまいります。 <p>③ 植栽・樹木の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の植栽等については、適切な時期に委託による剪定を行い、開放感のある敷地を維持してまいります。 ・落葉樹の落ち葉の清掃については、地域の皆様の協力や併設の施設と共同で、スタッフによる清掃で清潔な状態を維持してまいります。 	<p>休館日に専門業者に委託して、施設の保守点検、定期清掃を行っています。 他施設とも連絡を取りあい、不具合また危険箇所については、早急に対応します。</p> <p>快適で清潔な施設として、利用者の多い時などは特にトイレの確認、汚れは気が付いたら清掃するよう、スタッフ全員が気にかけています。</p> <p>敷地内は緑が多く、大掛かりな剪定は専門業者に委託していますが、敷地内の清掃時には地域の方と共にスタッフも清掃作業を行います。</p>	<p>定期的な保守点検を通して、館の美化安全に対しては引き続き対応していきます。</p> <p>スリッパが歩きづらい方、特に高齢者の方には安全面からも室内履きの持参。エレベーターの利用を勧めて行きます。</p>	<p>B</p>

		また、日々の落ち葉掃き・ゴミ拾いは勤務の中に取り入れています。		
職員育成	<p>(12) 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>館長には施設の管理運営や地域活動に精通している者のうち適格者を、スタッフには公募により近隣地域から職務経験・地域での活動実践や職務適性を考慮して採用します。公募にあたっては、職務に相応しい能力のある人材を確保するため、地域や運営委員会へ情報を広く提供してまいります。</p> <p>原則的に月に一度の施設点検日及び年末・年始の6日間を除いて、毎日午前9時から午後9時まで（ただし、日曜・祭日は午後5時まで）開館することから、常に館長、館長補佐、スタッフを配置し、滞りの無い運営とサービスの提供を行なってまいります。</p>	<p>全員が霧が丘在住のスタッフです。</p> <p>遅刻・欠勤をする方はいません。</p> <p>地域行事の参加、協力など、勤務外でも常に地域への関心を持つばかりです。</p>	<p>新しく加わるスタッフの方にも、地域の中の施設として、仕事と共に地域活動への参加・協力の必要性を伝えていきます。</p>	B
	<p>(13) 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いについては、横浜市個人情報保護条例、個人情報取扱特記事項及び地区センター個人情報保護方針を遵守するよう研修などで職員に徹底してまいります。 また、個人情報取扱特記事項チェックリストにより理解度を点検するとともに、情報に接触できる職員を制限するなど、情報管理の適正化について、個人情報の厳格な管理を徹底し、情報の流出を防止するため、個人情報の持ち出し厳禁、パソコン等の盗難防止策、資料送付等における誤送付防止などを徹底します。 ・個人情報が、万一漏洩した場合は、速やかに漏洩の個人情報当事者に謝罪と原因説明を行うとともに、誤った情報の回収と正しい情報の送達を行うようマニュアルを作成しました。 また、施設協会事務局及び区役所管轄課へ報告し、指示を仰ぎ、漏洩の防止対策を講じるとともに、漏洩原因・対策などを公開してまいります。 	<p>年1回「個人情報保護について」研修を行う。</p> <p>名簿等、個人情報の記載されているものは事務室より持ち出さない。</p> <p>閉館時には、鍵のかかるロッカーに片付けています。</p> <p>パソコンは、パスワードを設定。</p> <p>使用していない時には、机の引き出しに片付けます。</p> <p>日頃より、スタッフ間の話の内容にも注意を払います。</p>	<p>自主事業など、個人情報の提供をお願いすることがあります。個人情報は必要な情報のみ提供頂くよう、引き続き注意していきます。</p>	B



- ①市民からの通報等
- ②謝罪・情報回収・説明等
- ③報告・指示等

(14) 施設の維持管理計画

- ・維持管理については、利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に施設を利用していただけるように、できるところは自力で行い、資格や専門知識・技術の必要な分野は専門業者に委託し適正に行っていきます。
- ・建物、設備、備品などの日常的な保守点検は、スタッフが効率よく漏れなく確認できるよう点検実施表を用いて行います

電球の取り換え、備品のチェック、修理、補修などスタッフの出来る事は行っています。
 年末年始休館日も、敷地内の見守りパトロールを10時16時の2回行います。

今後も継続していきます。

B

財務	<p>(15) 収入計画の考え方</p> <p>収入の総額は約14,874千円で、内訳は、指定管理料14,606千円のほか、自主財源として、自主事業参加料116,500円、その他雑入151,500円となっています。</p> <p>現状の施設環境維持及び利用者サービスの低下に陥らないよう、安定した運営のため指定管理費は現状維持としますが、自主財源の確保に一層努力し、経費の節減と収入増を図り、利用者サービスの向上に努めます。</p>	<p>常に、節約を心がけ、再利用できるものは使います。</p> <p>自主事業の教材なども、手作りできるものは対応します。</p>	<p>印刷・コピーの利用が多くあります。適切なアドバイスにより、気持ち良く作業できるように努めて行きます。また、機器を良好な状態に保てるよう気になる時にはメンテナンスをお願いしています。</p>	B
	<p>(16) 増収策</p> <p>・自主事業参加費につきましては、どなたでも参加し易くするため参加費は廉価に設定しておりますが、受益者負担の考えから、参加費（材料費）の設定を見直し、自主事業費の増収を図るとともに、自主事業内容の充実を図ります。</p>	<p>教材費の掛かるものは、相応の参加費を設定しました。</p>	<p>自主事業参加者の教材費に無駄が出ないよう、準備の段階での打ち合わせを、欠かさないよう引き続き注意します。</p>	B

(17) 支出計画

単位 千円

項目	内容等	金額	
人件費	職員	館長 1名(常勤)	3,300
	スタッフ	館長補佐 1名、スタッフ6名(非常勤)	3,866
	社会保険料等	社会保険料、健康診断費、福祉共済掛金	564
	小計		7,730
事務費	事務費	消耗品費、図書購入費、備品購入費、リース料、通信費	1,244
自主事業費		講師謝金、材料費、保険等	333
管理費 A	光熱水費	電気、ガス、水道料金	1,226
管理費 B	修繕費	設備、備品等の小破修繕	553
	清掃費	日常清掃、定期清掃、害虫駆除等	1,030
	施設管理保守	消防設備、空調設備、エレベーター包括点検等	632
	小計		2,215
公租公課		消費税等	1,051
事務経費		労務、経理、職員研修等	1,075
施設管理運営経費			14,874

当協会理事会の予算・決算の議をえて、館としても適切な執行につとめました。

今後も事務局と連携して、適切な支出を行います。

B

<p>その他 (上記 4つの 視点以 外の項 目があ れば追 記)</p> <p>利用者 等の意 見</p>	<p>(18) 利用者等の意見の把握方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声などでいただいたご意見・ご要望等は、より良いサービスを提供するための資源と受け止め、速やかに対応してまいります。 ・コミュニティハウスが独自に保有する様々な情報については、横浜市が保有する情報の公開に関する条例に基づき広く公開に応じることはもとより、コミュニティハウス運営の基本となる年度ごとの事業計画書及び自主事業とその結果報告、コミュニティハウスの運営にご意見をいただく運営委員会や利用者懇談会などの資料は、自主的に公開し、利用者の知る権利を尊重するとともに、コミュニティハウスの運営について、利用者の理解と信頼を得られるよう努めてまいります 	<p>年1回利用者懇談会を開催。</p> <p>「市民からの提案」を目的とするコーナーを設置。</p> <p>なによりも、窓口での会話を通して</p> <p>小さなことでも耳を傾けるよう、スタッフ全員が心がけています。</p>	<p>コミュニティハウス以外の事での相談、ご意見を頂くことがあり、今後に向けて霧の里会議にて情報の共有、把握に努めます。</p>	<p>B</p>
--	--	---	--	----------

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載

平成30年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市霧が丘コミュニティハウス
対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
指定管理者	一般社団法人緑区区民利用施設協会
実施日	平成30年5月30日(水)、平成30年10月12日(金)、 平成31年3月5日(火)
点検方法	現地視察及び館長へのヒアリング、その他書類調査
講評	良好
指摘事項	年間平均稼働率が2割を切ったことから、自主事業対策の充実のほか、様々な対応策を講じるように促す。
改善状況	図書館の貸し出し時間を見直した結果、貸出冊数と新規利用者の増加につながった。
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、目標達成状況	
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住 区別利用数、その他利用数	年間合計15,578人。昨年度と比べて約5%減となった。
	会議室等稼働率	部屋別等の稼働率	登録団体数が減り、稼働率も前年を下回る結果となっ た。
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	適正
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経 費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書 の自主事業計画との整合性	適正
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適正
	施設の管理状況	点検実施日、点検内容、点検結果、対応状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者 への委託状況等)	適正
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適正
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適正
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセ ンターへの意見・要望等)や利用者ニーズ、苦情等の 把握状況と対応、掲示の有無等	適正
	サービス向上 経費節減	サービス向上の取組状況、経費節減の取組状 況	年一回、利用者懇談会を開催し、利用者の生の声を聞 く機会を設けている。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適正
年1回	運営目標の実績評価 運営に対する自己評価	事業計画作成時に設定した運営目標に対する実績 目標と実績に差異が生じている場合の改善計画	特になし
	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	適正
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況、研修 の実施、誓約書の提出	適正
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	適正
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	適正
		消防計画の作成・提出状況	適正
	保険	施設賠償責任保険への加入状況	適正
	その他研修等の報告	職員等に対する研修の実施状況	適正
本市重要施策への実 現に向けての取組状 況	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市 内中小企業への優先発注、環境政策、障害者福祉 政策、男女共同参画政策等の取組状況	適正	
随時	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	平成31年3月3日に実施。運営委員会も年3回開催し た。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	発生なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	発生なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	発生なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	発生なし
	喫緊の対応が必要又 は特に重要な意見、 要望	すぐに対応が必要な意見、要望	特になし
	特に重要な施設の維 持管理、修繕に関す ること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管 理、修繕に関する状況	特になし
特 筆 す べ き	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	利用者の方々とのコミュニケーションを重視し、サービス向上の取組 に結び付けているといえる。また、年間を通して装飾に力を入れてお り、利用者の方から好評である。		自主事業の充実のほか、特に、夜間の稼働率向上に努 めるように指導する。